

## 秋 第16回上野焼秋の窯開き の新作と旬の食材を味わう

「上野焼秋の窯開き」が10月21日から3日間にわたって開催されました。会場となった上野焼陶芸館と上野焼協同組合13窯元には秋の新作や掘り出し物を求めて約5千人が来場。隣接するふれあい市ではしし汁や旬の食材が低価格で販売されるなど、陶芸ファンは400年の歴史を誇る上野焼の伝統美を肌で感じながら地元の郷土料理で癒されていました。



↑福岡市内からのツアーや県外からの来場者でにぎわいを見せた上野焼陶芸館。

↓筑波大学付属小青木伸生先生の公開授業では、全国の先生が注目を注ぎました。



## 全国トップレベルの指導力を研究

児童たちが自発的に勉強を<sup>たの</sup>しみ、考える芽を育むことをテーマにした「基幹学力研究会」の福岡大会が10月29日に市場小で開かれました。より質の高い授業を目指す全国の先生約300人が集まり、国語と算数に着目した公開授業や教材開発を研究。慣例化した授業を打破し、全国トップレベルの指導力を身につけようと、白熱した討論が繰り広げられました。

↓「米のすくい取り」や「枝豆取り」、「サツマイモ掘り」などが好評で、リピーター続出。



## 大人気の収穫体験で笑顔も収穫

10月23日に弁城迫地区で「コスモスフェスタ」が開催されました。地域のみなさんが「花いっぱい運動の会」を結成して始まったこのイベントも今回で11回目。年々口コミで評判が広がり、今年も町内外から多くの親子連れなどが参加しました。残念ながら満開には1週間ほど早かったようですが、参加者たちは花の色鮮やかさを間近で観賞し楽しんでいました。

## 自身 金田ジュニアクラブ創部35周年記念大会 の記念大会で白熱の攻防を展開

金田ジュニアクラブの「創部35周年記念大会」が10月29日に行われ、県内外から48チームが集結しました。8月に行われた九州大会で3位に輝き、勢いに乗るジュニアクラブは初戦をコールド勝ちで突破し、その後も順調にコマを進めて決勝進出。惜しくも延長戦でサヨナラ負けをきり、涙をのむ結果となりましたが、最後まで記念大会を盛り上げました。



↑伸びのあるストレートと絶妙なコントロールで初戦を完封に抑えた大島空くん。

↓上金田郷土芸能保存会による獅子舞の演舞で、稚児の愛らしい姿に元気をもらう参加者（金田会場）。



## 打ちたてのソバの花フェスタ2011 ちたてのソバの風味に誘われて

農業総合プロジェクト主催の「ソバの花フェスタ」が10月23日に伊方中原周辺で行われました。当日はあいにくの雨に見舞われましたが、福岡産のそば粉を使用した限定300食の「手打ちソバ」や「そば饅頭」を求めて、会場は長蛇の列ができるほどの大盛況。ステージでは歌謡ショーやフラメンコが披露され、今年で11回目を迎えるフェスタに花を添えました。



↑本職に引けを取らない手さばきで打たれたソバは、弾力とのごしが抜群です。

↓九州場所の活躍を願い、貴乃花親方夫婦と弟子に花束とサツマイモをプレゼント。



## 元大横綱が園児に今後の飛躍を誓う

大相撲九州場所所稽古や生活拠点となる宿舎を田川市に構えた貴乃花部屋。11月7日に貴乃花親方夫婦と弟子8人がひらばる幼稚園を訪れました。園児たちからこの日に掘ったばかりのサツマイモや「強いお相撲さんを育ててください」とメッセージ入りの花束を手渡された親方は「みんなの期待に応えられるようにがんばります」と約束し、飛躍を誓っていました。